

令和4年第1回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和4年1月13日午後6時00分

場所

高砂市役所南庁舎2階会議室2

出席者

衣笠教育長、吉田委員、山名委員、神尾委員、吉屋委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、三木教育推進室教育総務課長、
矢野学校教育室学校教育課長、中野教育推進室生涯学習課長、
川平市民部長、前川市民部市民窓口室長

本日の会議に付した事件

協議事項

- 1 公民館の地域交流センター化について

報告事項

- 1 新型コロナウイルスについて

協議事項 1 公民館の地域交流センター化について

○事務局 (協議事項 1 について説明)

○教育長 前回までに公民館を地域交流センター化していくことについては了としていただいておりますが、まずは曾根からというところを一斉に行うというところについての変更がありましたので、案の段階ですけれども、忌憚のない御意見をいただきましたらと思います。

○委員 今高砂地区のことを言われたと思うのですが、交流センターにするに当たって、他の地区に要望の聞き取りはされているのですか。ほかの地区も同じような状態だろうということの推測の下で交流センター化するということですが。実際、公民館の役割と交流センターの役割が全く違うものではないということも分かりますし、意見として概ね賛成はしてきましたが、一気にこれを進めるに当たっての周知徹底が行われているのかどうか。今、一生懸命されているということですが、以前よりモデル地区として、曾根では新たに大きなのを建てて、そこからモデル的なものが動いていったら、ほかの公民館に関しても色々な刺激があって、もっと活発な交流を図れるようにできていこうということ期待されるという話があったと思うのですが、曾根みたいに新たに建てるというのと、既存のところとでやっぱり差が出るのかなと思うのですが、それに関してどう思われているのですか。

○教育長 1つは他の地域の聞き取りの話と、それから新しい施設を建てるのと既存の施設を活用することはどうなのだろうなという御意見だと思いますけど。

○事務局 まず、1点目の要望の聞き取りのところなのですが、こちらはあくまで6年4月からというところでまだ頭出しという段階です。各連合自治会のほうには順次、今月から来月頭にかけて説明をしていきます。先月には北浜地区、米田地区、伊保地区に資料をもって説明させていただいております。ただ、あくまで頭出しの段階ですので、今後引き続き要望等の聞き取り、また公民館活動グループ等との調整は随時やっていくという予定としております。それと、委員がおっしゃるように、曾根のほうは新築で、きれいなところができる。高砂地区については公民館をコミセンと一体化して、今のコミュニティセンターの場所で地域交流センターとして行うというところは決定しておりまして、ほかの6地区についても既存の公民館を活用してというところがございます。その中で我々が問題にしているのは、運用方法のところはまず1点ございます。整備方針の中では地元で運用を任せたいというところはあったのですが、やはり曾根地区と高砂地区と協議する中では、なかなか地元が運営していくのは難しいという御意見を頂戴しておりますので、その運営については市が直営するのが望ましいのではないか、また指定管理者制度として民間に任せるのも手で

はないかというのもあったのですが、ほかの6地区も同じ課題があるだろうというところがありましたので、こういった案がありますというところで御意見をお聴きしていきたいというところが今の流れでございます。そういった中で、曾根のモデル地域の動きを見てからというのも、当初はその段階で進めていきたくたのですけれども、公民館を地域交流センター化するというのは既存の公民館を使ってやるというところの部分で、できるだけ早い段階で各地区の皆様にお聴きしていきたい、結果的に6年4月にやっていきたいというのが市としての思いでございます。

○委員

例えば高砂地区の場合はコミセンが既にあるので、公民館もあってという形なので地域の方は理解しやすいと思うのです。でも、ほかの地域だと公民館とどこが違うのかがまず分かりづらいと思いますし、逆に説明をされると、教育活動というものの意味について軽くなるのという印象を持たれる方もいらっしゃるかもしれませんし、地域地域で課題が違うと思うのです。例えば米田ですと、仲よし広場というもので自発的に運営しているものがあつたりしますし、そことの関連はどうなるのでしょうか。それぞれ違った課題を丁寧にクリアしていただいて、これを機会にもう少し市民の方と公民館とか交流センターとの距離を詰めていただきたいという希望があります。やはり、自分たちが普通に使える場所というイメージがあまりなくて遠い存在です。もっと身近で、もっと色々なことができるようになるのだというような印象を、この機会にもっと皆さんに周知していただけるような取組方をしていただくとありがたいと思います。そういうことが十分具体的にできるのであれば、同時にしていただいてもいいのかなと個人的に思います。地域ごとに色々と違った課題があると思いますのでよろしく願いいたします。

○委員

新しい建物を建てたり、高砂地区のコミセンみたいな形で行うとすると、地域交流センターというものの理解が得られやすいのは事実です。既存の公民館が地域交流センターという名称を変えることによって、実際どうなるのだということの明確な差を示せるかどうかというのがあります。一番大事なことは地域の活性化を図る拠点としていきたいということですが、新たに建てると言ったら、やっぱり興味もあるし、利用の仕方というのも色々考えて意見も言ったりします。有効利用しようという機運が高まって、地域も有効利用しようという期待して本当に盛り上げていこうとなります。既存の公民館の名称を変えるということに対して、新しい建物を建てる地区と同様に、その地域の方々にインパクトを与えて、活発に地域の中で交流を深めていってくださいという、啓蒙。どういうふうやっていくつもりなのでしょう。

○事務局

まず、各地域によって地域差というのはあるとは当然思っております。一例として米田の仲よし広場という県民交流事業でやっている貴重な例というのがあります。米田地区の仲よし広場のメンバーの方ともお話しさせていただいて、

既存の公民館というのはどうしても公民館グループだけが使っているようなイメージがあり、例えば高齢者だけではなくて若年層も、色々な世代の方が寄ってくるようなところにしていただきたいという要望は既にいただいているところです。もちろん委員がおっしゃるように、地域差があってやっぱり難しい。曾根については新しい建物でインパクトもあって、皆さんの注目を集めやすいというのはあるのですけれども、我々が考えているのは、まず運営をそのまま全て曾根地区に運営を任せられるかとなると、曾根もドットコムという形で活動をやっていただいていたのですけれども、運営を全てまとめて自主的にやっていくのは難しいという御意見をいただいています。そういった団体があるところでさえそうであるならば、そういった団体がないところでは当然運営が難しい。自治会のほうからも難しいという意見をいただいています。そのため、運営はまず市のほうで一旦させていただいた上で、事業運営のほうにはそういった各種団体、協議会というのを立ち上げていただいて運営に参画していただく。その中で問題点、要望等があれば解決できるような会議体を設けて、地域交流センター化というのを図っていきたいと思っています。もちろん地域差があって、温度差も違うだろうというのは承知しているのですが、並行して各地区全てに同じように要望をお聞きして、できることであれば、全て地域交流センター化したいとは現在思っているところです。

○委員 地域交流センター化するという必要は必要なことだと思うのです。一斉にするというのもいいなと思います。ただ、パンフレットにはできなくなることは具体的に出てきているのだけれども、何ができるのかという主な機能のところには、地域の活性化を推進するとか、福祉の相談を強化しますとか書いてあります。もちろん理念等は分かるのですが、こんなことができますよ、こういうことを目指しますよという具体的に分かりやすく事例があれば、住民の皆さんの理解も得られやすいと思うのです。老若男女色々な人が集まれるように具体的にこんなことをしますとか。そういう何らかの具体的な事例があれば、「あ、こんなことができるようになるのだな」ということで理解が得られやすいと思うのです。できないことは結構はっきり分かっているけれども、できることが非常に漠然としているから、この部分がもう少し突き詰められて、そういう内容になると、もっと理解がしていただけるのかなと思います。

○教育長 今言っておられるのは、具体的な事例を示した方がいいということをおっしゃっているのか、具体的な事例が明確に実感として分かるように、例えば当初のような曾根先行でやって、その事例を提供していくほうがいいのか、どちらでしょうか。

○委員 一斉にやるのはいいのですけれども、高砂市内の住民全部が理解しやすいような具体的な事例を出していただきたい。曾根を先行で、それを1つのモデルケースにするというのではなくて、皆さんが、地域交流センター化したらこういう新し

いことができるのだな、ちょっと楽しみだな、みたいなことを思っただけのような何かがあれば、もっと分かっていただきやすいのかなという気がします。

○事務局

貴重な御意見ありがとうございます。我々としても出せるものがあればいいのですけれども、今のところ活用のイメージという形でしかお示しできておりません。こういった形ができるようになりますよというのを市民の方にもっと分かりやすく説明していきたいと思えます。そこについては、各地区と協議していく中で順次お示ししていきたいとは思っています。先ほどのできなくなることの部分については、伊保を除く7地区の公民館にサービスコーナー、市民コーナーとしての機能があるのですけれども、その部分で、市民サービスコーナー、市民コーナーの機能としてできなくなることで、あえて入れてはいるのですけれども、御助言いただいたように、もっとこう使い勝手がよくなりますよというような肯定的な形で市民の方に周知をしていきたいと考えております。

○委員

市の考え方としては、できれば地域で運営してほしいという思いを持たれているのですか。

○事務局

地域それぞれに課題があって、地域にもそれぞれ違いがあります。そういった中で、例えば曾根でしたらそねドットコムの方、米田でしたら米田仲よし広場の方に自主的に運営をしていただいて、自由に幅広い世代を集めていただくような方策を取っていただきたい。その中で貸館業務などの施設の管理運営のところの部分については、地元のほうからそれは難しいという御意見をいただいています。であるならば、運営の管理については、まず市が一旦やらせていただいて、参画自体は地域の方に参画していただくのですけれども、その中で、ここの建物を自由に使って運用できるというような地域があれば、当然地域に任せていきたいとは思っています。ですが、まだ一足飛びに、例えば米田の公民館を米田仲よし広場に委託しますので自由に使ってくださいというのは、ちょっと難しいと地元からも聞いていますし、こちらも難しいと思っていますので、運用面については、市のほうで何とかさせていただいた上で、自主事業のアイデア等はどんどん出していただきたいと思いますとは思っています。

○委員

米田仲よし広場については、3週間に1回、店番とって2時間半くらい詰めるのですね。それを順番にローテーションでやっていくのですけれども、やっぱりなかなか大変なのです。市民の人がその時間に仕事を入れずに、そこへ行って2時間半詰めている、場合によっては4時間半のときもありますし。あとは運営資金をつくるためにコピー機で何かやって、色々なことをしながらやっていくのですけど、やっぱり核になって引っ張っていく人がいるので今は動いていますけれども、長期的に見て、コンスタントに10年、20年続くというのは非常に難しいと感じました。ですから、地域に運営を任せるということは、これから先ますます難しくなるように思います。逆にそれを出すことで地域の人から負担を感じられないようにお話をされたほうがいいのではないかなと思います。

- 事務局 ありがとうございます。おっしゃるとおりでございます。地域の皆さんとお話しさせていただく中で、今現時点だったらできます。ただ、後継者の問題であったりとか、当番制の問題であったりとかいうところで、今はいいけど、5年後にできるかというのは難しいというような御意見もいただいています。そういったところで、まずはやはり市のほうでしっかり運営をやらせていただく中で、地域交流センターの活用の事業とか、そういう地域の活動というところについては、地域の代表の方のみならず、そういったアドバイスをいただきながら、よりよいものにしていきたいとは思っています。
- 委員 地域交流センター化に持って行って、名前を変えて、これがどうなるのだろうなというところなのですが、地域交流センター化に持っていくことは必要だと思いますし、やるならば、モデルケースを据えるというよりも一斉にしたほうが、できること、できないことの差も出てくると思います。もちろん建物が建つ、建たないで既に差はあるのですが、そういうことを市全体で取り組んでいったらいいと思います。ただ、今の公民館活動をされている方も来られると思いますが、そういうのは制約される部分はないではないですか。今でも地域交流の場になっている中で、一番の核となってこれを持っていくところというのは何なのか。まず1つには、やはり今、公民館というのは、市民の方のイメージもそうですが、公民館活動をされている方だけが使っているというイメージがあるのではないかとこのところがございます。今後は、人口が減っていく中で地域のつながり、地域を活性化していくことが当然必要だという中では、公民館活動グループのみならず、ほかの方へと、それぞれ自治会とか老人クラブであったりとか、色々な団体、全ての方が自由に使えるようにしていく。そのためには、社会教育施設の縛りを外すことによって、より自由度が増すのではないかと考えているところがございます。
- 事務局 その点を少し補足させていただきます。以前、社会教育委員さんの意見も伺いまして、教育委員会でも御意見いただいています。その中で、公民館の社会教育施設という枠は外しましょう。ただ、今までどおり社会教育の拠点として使えるということ。教育を担う立場としては、そういうことを考えてほしいという意見をいただいております。具体的にまだ細かな調整はできていないのですが、基本的には、今活動されている公民館の登録グループが今までと同じように活動ができる。ただ、今までは専用みたいなイメージがあったのですが、制約をなくすことでもっと利用を増やしていきたい。その方向性で地域交流センターにしようということで皆さん御理解いただいたというのが現状です。例えば、高砂の公民館は登録グループを含めて15%から20%ぐらいの稼働率のようです。一方で松波のユアアイ帆つとセンターですと、色々な団体が色々な使い方をされて多く利用されています。それは何故かという、やっぱり公民館の場合は社会教育施設という制限がある中で、営利目的で利用はできません、施設の中で飲食は

基本できませんというような制約。あるいは、宗教的な活動であるとか、政治的な活動に利用することはできませんということを原則としています。一般の方が公民館を使いたいと申請に来られても、初めての場合は館長がいろいろ聞き取りをして、これは社会教育施設を利用するに当たって問題ないということが判断できた場合は「どうぞ、使ってください」となりますが、やっぱり問題がある場合はお断りするケースもあるということを聞いております。社会教育施設という枠を外すと、そういうこともなくなるかなど。もちろん、何でも大丈夫ですと言い切っているものかどうかというのもあるのですが、制約がなくなるので、もっと色々な世代の人が使うことが可能になるのかなとは考えています。

○委員　そこで問題なのは、施設の駐車場の状態等がどんな状況であるか、施設の中もスペースの問題とか、新しいと色々な考えがあって、以前の既存の公民館の建物とは違う利用の仕方ができています。やはり一番大きいのは駐車場かなと思います。そういう意味で既存の公民館のところは難しい。今言われていることは十分分かって、足かせみたいなのがあった、固いイメージのある公民館をもっと交流センターとして、みんなが使いやすい形にしていかなければいけないとは思っています。ただ、そうしたとき、既存のところもそれなりに予算をかけてあげて、使いやすいような状況、あるいはイメージを一新するような形のものが伴ってくれるのだったら、地区の方々も、動きやすいかなという気はします。

○教育長　最初に自由に御意見をいただきたいというお話もありましたが、曾根からスタートして段階的にということか、一斉にやっていくのもいいのではないかとということにも焦点を当てながら。ただ、社会教育施設という制限を取り除かれるということで考えると、委員の御意見にもありましたように、社会教育活動が軽くなってしまふということが教育委員会としてはよくないのではないかとこのころで、そこをしっかりと担保しながら、市民の方に自由に使っていただく部分も期待しながらやっていく。活用のイメージ等も示していただいていますので、そんな中で、こういった課題があるのではないか、こういった地区ではこんなことが問題になっていますということも再度、御意見いただいたりしていただければありがたいなと思いますのでよろしくお願いします。休憩中にもちょっとしたアイデアで、みんなが興味を持って活用ができるという御意見もいただきましたけど、本当に公民館活動、社会教育活動をされている方のみでなく、自治会、老人会、子ども会等の活用も期待されるという意味では、ただ単に看板を変えただけではなかなか難しいと思いますので、そここのところの工夫なり、またはある程度の予算も、そういったことも視野に入れながら、何か期待できるような施設に変わったなというイメージを市民の方に持っていただく必要もあると思います。魅力ある地域交流センターということを示していくためにも、今後具体的にイメージできるような事例を示していくことも大事だと思いますので、その辺りについても何か御意見いただけたらと思います。

- 委員 実際そういうことができるのかどうかは分からないのですけれども、例えば赤ちゃんが生まれてからの健診とかありますよね。それを保健センターまで行かなくても、身近な交流センターでしてくれるとかいうことであれば、赤ちゃんのうちに出入りしていると、その場所に慣れると思うのですよね。それで行きやすくなるし、できるのかどうかは分からないのですが、やっぱりそういうことは、どこでもできることではないのですかね。
- 委員 昔若い世代がいっぱい居たときは、集会所のところで出張健診をやっていましたが、今はそういうのはしていません。また、健診といっても、ドクターがする健診と、色々な商業施設でもサービスとして、身長、体重を測るということ、それも健診という言い方をされたりします。測り方のルールが守られていなかったり、色々なことがあります。百貨店等でドクターが行って、健診をやっているような施設もあります。子供服の店等が小児科の医者を雇って、お客さんが来たときに常設しているから、そこで定期的に発達を診ていきますと行っているような形もあります。実際、今そう言われたら、高砂の中でそれぞれの地区のところで健診というのは、アイデアとしてはあるかもわかりませんが、小児科の人がそこへ行って健診することはまず不可能です。保健師等が行ってやるのも、非常に難しいところがあります。コミュニティとして、年間で400人ぐらいしか生まれえないし、それが10地区に分かれたら1つのところに40人ぐらいしか年間に生まれえないので、生後3か月ぐらいの子がその地区に何人いるかということになると、10人もいないのです。今、子供が少ないということで、そういう出張の形はほとんどなくなりました。
- 委員 オープンスペースが自由に使えるので、ある団体がそこで会議をするためだけではなくて、自由に来て本を読めるとか、冷暖房が効いて、子供らが夏の暑いときに宿題をしたり、そういう自由に使えるような形をどんどんPRできたというのがあります。制約を取り払うことは大事なことだと思うのですが、制約を取り払ったところでここを利用する市民が少ないというのは、今皆さんがおっしゃったような部分だと思うのです。駐車場がなかったり、近代的な建物ではなかったり、色々あると思います。それだったらもっと色々取り払ってしまって、いつでも使えるようにというような取組もPRしていったらいいのではないかなと。若い子、子供等が利用できるのではないかなと思うのです。
- 事務局 少し補足させていただきます。今おっしゃったような件なのですが、各地区の公民館、図書室をそういう学習スペースに開放して、市政だより等にも載せるのですが、いま言われたとおりで、利用される世代の子供たちがあまりそういう情報を持っていません。ただ、中央公民館等は図書室がいっぱいになってしまいます。特に夏休み等はそうなるのですが、その段階で空いている部屋があったら開放して、自習スペースで使える様にする等の対応は今も行っています。また、中央公民館は1階に広いロビーがあり、そこに幾つか机、椅子があるのですけれど

ども、時々小学生の子供たちが下校時に寄ってきて、そこで宿題をして帰ったりとか、一回帰って、またそこへ出てきて友達と本を読んだりしていることもあるみたいです。今の公民館は、そういう形で地域の学校と連携できないかということで、色々アイデアとしては出しているのですが、やはり子供から見ると入りにくい施設なのかなというのは確かにありますので、その辺の御意見を参考にしながら進めていきたいと考えています。今やっているものも、もっとPRする必要があるでしょうし、それに対して御意見いただいて、改められるところは改めていく必要があると思います。今後、この地域交流センターをどう運用するかというのは市民部のほうで色々考えていくのですが、公民館の登録グループの活動も含めて、今利用されている方の御意見は公民館の方に集まってくるので、そういう御意見はきちっと市民部にもお伝えして、最終的にどうするのがいいのか、というすり合わせをしていかなければいけないとは考えております。

○委員　やはり最初が行きにくいので、何かの形で子供が小さいうちに、お母さんと子供で行けるようなことを考えていただかないと、なかなか、「使えますよ」と言われても行きにくいのですよね。中央公民館の場合は、すごく考えてくださっていて、ロビーを開放してくださっているし、小学校がすぐ裏なので、お母さんと子供が待ち合わせ場所とかに結構しています。そういう感じにさせていただくと子供も行きやすくなりますし、親も気楽に入れるので、何か足を最初は運ばなければいけないという形をつくっていただいて、いるうちに慣れるかなと思うのです。何かそういうアイデアがあったら。

○教育長　今聞いていて、公民館活動自体も個人的にはすごく衰退してしまっている部分もあるのかなという感じはします。昔、公民館の館長を1年だけですけどしたときに、ちびっこ教室とか夏休み教室とあって、パン作りやうどん作り、工作等、色々なことで子供さんを招くような取組がありました。それと、それに加えて幼稚園の保護者の方、それから小学校の保護者の方、中学生の保護者の方が集まって、1年間を通して、色々な講師の先生を呼んだりしながら、子育てについて学ぶという活動もありました。今はなくなっていますけれども。それについても、集まってくるのがなかなか大変で、公民館の館長さんが御苦労して、色々な地域に足を運んで何とか集めてくださいということでした。実際集まったら、そのグループがなくなっても、その後もずっと続いて、市の中で社会教育活動を行っているという事例もたくさんありました。その中で、そういったことをしようと思うと、なかなか難しいのですが、予算も必要かなというがあるので、今後そういったことも含めて、所管は市民部だからと離してしまうのではなく、市民部、教育部、健康こども部等が連携して、色々工夫をする、アイデアを出していく、または市民の方からアイデアをいただく。自治会とか老人会とか、色々な地域の団体さんとも話をする中で何かアイデアも生まれてくるのが期待されるので、そういったことをしながら、看板が変わって、こんなこともできて、

すごく行きやすくなったということが浸透していくような形が望ましいと思います。そのためには、これから6年度に向けて説明を市民の方にしていく中で、市としてアイデアなり、施設の概要、また活用のイメージを、こんなこともできます、こうすればこんな活動ができますよということを言っていく必要があると思います。やはり予算が必要かなと個人的にはどうしても思ってしまうのです。その辺りを今後、交流センター化していく中で市長部局との調整も必要かなという事は感じながら聞いていました。今、公民館としては教育部の管轄ですけども、市民部に移ったから関係なしではなくて、連携をしていくという気持ちは十分持っていますので、何とか魅力のあるものとしていくということが大事なと聞いていました。そこで、説明に行くときに、全地区一斉に地域交流センター化していきます、6年度からですよということをありきとして説明するのか。いろいろ聞きながら、時期的な、スケジュール的なことも、ちょっとまだ柔軟に対応していくのかというは、どうなっていますか。

○事務局 市民部としては管理運営方法のところがありますので、要望としては全地区一斉にさせていただきたいという思いはございます。ただ、そういった中で地域ごとの課題があるということも承知しておりますので、6年4月が無理だという可能性も当然ございます。そういったところも含めて、今は頭出しで各連合自治会のところで説明させていただいて、各地区に地域交流センター化の協議体をつくっていただきたいと思います。そういった中で色々なお話をさせていただいて、できましたら6年4月に同時期に地域交流センター化をしていきたいという思いはございます。ただ、あくまで今は決定事項ではなくて、今後、市民の意見も聴きながら検討していくということでございます。

○教育長 一斉にするのがいいという委員もいらっしゃいましたが、ほかの委員さんはどうですか。やっぱり同じような思いでおられますか。

○委員 一斉にするのは、やはり地域差が大き過ぎると思います。するなら今言った、既存のところに関しては、改装費を含めて、それなりのアイデアを出して、先ほど言われたような公民館活動とは別の何かのプランを持って行ってほしいです。なかなか足並みがそろわなかったら、必ずしも一斉にいかなくてもいいのではないかなと。もっとモデル的に、曾根等がうまくいったとしたら、ほかの地区もやりたいという形で進めていけますし。それで、子育ての問題とか色々な子供たちが集まったの問題とか、違う色々なテーマでやっていくことが必要。公民館が交流センターになったとしても、その管理運営しているところがサポートするような形にしてあげないといけない。少人数の方々が、ここを使ってやりたいといったときに、実際にそれをやるに当たってファンドをつくって、協賛する方にお金を出してもらって、講師等と呼ぶこともありだと思います。ボランティアばかりに期待していたら無理があるので、やはり人を呼んで教えてもらうにはお金を出さなければいけない。それなりのお金を集めた形のものも、公民館と違う形で交

流センターという形であり、市であったって、民営であったって、何かそういうのもつくるに当たってのアイデアとか、色々な助言をしてあげて、運営そのもの、イベントのプラン等、色々なことを教えてあげているような形の企画・経営・運営等を行うことが交流センターを広めていく大きなポイントだと思います。ここを利用したいという人たちに対してのアドバイスと助言が必要です。1つのアイデアで「こんなのはどうでしょう」と簡単な思いつきで来られた人に対して、親身にやってもらうために、そういう人材がいるかといったら、全部の公民館には多分いないので、1か所から、あるいは数か所のところから集めたら、一生懸命やってくれる職員はいるので、そういう人たちが関わってくれたら動いていくなと思います。そうしたら、その地区の方々も、市が本当に本気でやってきたなと実感が出てきたら動くし、協力してもらった方々も多分、何回かやっていくと、今度は逆に手助けできるような形ができていくのかなというイメージはずっとあります。一般の市民みんなが集まってと言うけど、なかなか人の輪がづくりにくいので賛同する人が少ない。そこをあえて協力して、交流センター側のアドバイスしてくれる優秀な人材を配置してほしいなと思います。

○委員 できるのであれば、やっぱり全市一斉にしたほうが、それこそども園化みたいにして、足並みにあまりに差がついてしまうと大変になると思うので、できれば一緒にできたほうがいいと思います。でも、そのためにはそれぞれの地域に対して、かなり深くフォローをしていかなければいけないと思います。大変だとは思いますが、理想としては一斉にできたらいいと思います。ただ、それは理想であって、本当に大事なことは使ってもらえる施設にするということで、その第一目的が達成されることが大事だと思いますので、その目的のためなら予定が変わってもいいと思います。生涯学習インストラクターとか生涯学習コーディネーターとかの資格を持っている人も上手に見つけていながら、地域のアイデアマンなどもありますし、色々な人との出会いで、時間がかかっても、みんなが集える場所になっていくように。理想は一緒にできたらいいかなと思います。

○委員 私も一斉でやるとはいっても、建物が一度に建つわけではありませんので、いいかなと思います。利用者の制約を取り払うというところは、全部一斉にそういう形にできたらと。そのことによって各地域の差とか課題とかも全体として見やすいのではないかなと思いますので。最初の取っ掛かりは全体で、施設の整備は一斉にはできませんから。制約を取り外して地域交流センターに向けてというのは一斉にやったほうがいいのではないかと思います。

○委員 整備をした後、地域主導ではなくて行政主導のような形になりそうだというお話がありましたから、説明のときには「一斉にいきます」という市のスタンスとして、そういう思いを言っただけのほうが伝わりやすいのかなと思います。理想論はそこであって、結果的には違ったことも出てきても、それはその地域の特色とか色々課題があって、それはそれで説明のつく話だと思うのです。できたら

一斉にいきましょうというスタンスでは弱いのかなという気がしますので、まずは一斉にとという形で取り組んでいただけたらいいのかなと思います。

○教育長 皆さん、理想としては一斉にとという御意見もありました。ただ、やるに当たっては、困難な地域であるとか、または色々な課題もあるだろうから、そういう場合は結果的に違っても仕方ないことも少し考慮して、できれば一斉にとという形でやったらどうかと受け止めているのですけれども、そういうことですね。

○事務局 貴重なアドバイスをいただいたと思っています。行政主導というわけではないのですけれども、まず運営のほうは行政が責任を持った中で、地域に自由に使っていただきたい。その中で我々が配置する職員としては、その地域をよく知って、色々な団体をつないで、色々事業をやっていくような人材を配置していきたいと思っています。こちらのほうについては、総務部等にもお話はさせていただいているところです。できるだけ地域をよく知っている地域担当職員になるような人材は配置していきたいと思っています。ありがとうございます。

○教育長 教育部として、社会教育活動が衰退云々の話も出ましたけど、進めていただくということでもよろしいですか。

○事務局 基本的に、中央公民館も伊保の地区公民館になりますので、地域交流センター化される可能性は高いです。ただ、市内全体の地域交流センターを今までと同じように社会教育の拠点として活用できるように、形としては残していきたいと考えています。例えば登録グループがここの地域交流センターで活動したい、その場合、中央公民館がその手続方法を指導したりとか、手続を代わりにやったりとか、そういうことも必要かなと思っております。それと、公民館が地域交流センターになりますと、教育部のほうで地域交流センターを貸館で借りて事業をやるということになってくるかと思えます。そうなってきますと、今までは公民館が主体で事業をやっていましたけれども、例えば生涯学習課のほうで受け持っている青少年の事業を、公民館を借りてやりましょうとかいうことがやりやすいのかなというところもあります。考え方としては、地域交流センターになっても、社会教育の拠点としては、そこは教育部として活用していく。どういう形を取っていくかというのは地域交流センターがどういう運営になるかというのを聞きながら、これからこちらも考えていきたいと思っています。

○教育長 ほかに特になければ、いただいた意見を踏まえて、明日の全員協議会のほうにもつないでいきます。今後もし御意見をいただく必要が出てきたら、また御意見もいただきながら、対応していきたいと思っています。では、このことについては、これで御意見いただいたということで進めてまいりたいと思います。よろしく願いします。

○事務局 (報告事項1について説明)

○教育長 休憩中にもいろいろ新型コロナウイルスの感染についての御意見をいただきました。情報もいただいて大変助かりました。しっかりと今後、感染対策も再度、厳しくやっていきますので、よろしくをお願いします。

令和4年1月13日 午後7時33分 教育長会議の閉会を宣告
